

意見交換会における主な意見

平成23年8月21日(日)に、七宗町開発センターにおいて3回に分けて意見交換会を開催してきたものです。

本資料は、説明会において出席者から出された主な意見についてまとめたものです。

意見交換会開催状況(出席者)

対象者	開催時間	出席者 合計	保 護 者				傍聴者
			男	女	計	対 象 者 数	
保育園保護者	午前9時～ 11時3分	26	13	3	16	70	10
小学校保護者	午後2時～ 4時34分	84	60	18	78	140	6
中学校保護者	午後7時～ 8時24分	63	37	15	52	107	11
延人数		173	110	36	146	317	27

保育園保護者対象意見交換会における主な意見

意見概要(要旨)	町側の考え方・今後の進め方(要旨)
<ul style="list-style-type: none"> 開催案内文書について、保護者から統合に向けて保護者の意見を聴く機会を設けてほしいと書いてあったがそのようなことをいわれたのか。 一般住民の意見を聴く機会を設けてほしい 他市町村の状況を調べてほしい(飛騨市、高山市高根村、白川町、八百津町)。 通学バスは危険ではないのか、スクールバスや路線バスの事故対策は無いのか。 部活動はどのような種目が増えるのか。 指導者が不足しているので増やしてほしい。 上麻生はおおむね賛成、神淵は反対も多い、理由には道路が狭くてリスクがある。 道路は早くできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 神淵と上麻生では温度差があるので、保護者合同の話し合う場を設けてほしい。 今後両地区合同での開催をします。 飛騨市及び高根村は市町村合併によるものであり、状況が違う。白川町は、現在までに小学校が13校から5校、中学校7校が3校となり、黒川中57名、佐見中36名で現在のところ統合は検討していない。八百津町は55年に八百津中と和知中が統合し八百津中、平成3年に福地中と久田見中が統合し八百津東部中、その後9年に潮南中が統合されている。尚、両町とは町の面積が七宗とはかなり違う。 責任の所在は町にあり、現在も室兼・追洞地区の子どもは通学している。 神淵のバドミントン、上麻生の卓球、バレーについては、選択肢として増える。 学校規模に応じて教員定数があり、人事は教育事務所が行うので、異動の場合は部活動のことも絡めて話をしている。 今年度より追洞地区にて県道の工事着工し早期完成に努める。

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減って、地域に危機感がある。町や教育のビジョンが示されていない。 ・以前の統合の話で賛成は七宗の真ん中でということだった。 ・これから大変なのは、統合中学に通う、保育園、小学校の保護者の意見を聞いて欲しい。 ・25年4月は親や子どもの心構えとして早すぎる。 ・統合になってから、行政は責任ある行動をとってほしい。 ・統合した時の一番のメリットは何か。 ・少人数のいい面もあるが、多くの人と接することは大切。 ・不安や不満を取り除き、歩み寄り、25年が早いなら、26年、27年のメリットを考えて、賛同の得られるよう早期に統合してほしい。 ・町長が変わった場合プロジェクトは継続するのか。 ・現校舎はどうするのか。 ・中学校の校舎に小学生が入るのはすぐ出来るのか。 ・夏祭りのボランティアなどの良い行事は継続されるのか。 ・雪などで授業に間に合わない場合の振替授業はどうなるのか。 ・統合に関する具体的な説明を生徒にもしてほしい。 ・通学方法について、自転車なども選択肢にしてはどうか。 ・統合するまでに、体育祭や授業などを合同にしてはどうか。 ・複式学級とはどういう形態なのか。いつ頃なるのか。小学校が先になりますが、その対応はどうされるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過去の統合の取り組みについては、真ん中に作ろうとしても決まらなかった。場所についても難しい問題であった。現状の七宗町を考えると新設は難しく現中学校を利用せざるをえない。 ・保護者の協議・総意の下であれば26年、27年になることは良い。 ・統合した後も、子どもの未来を考えています。子ども達は七宗町の宝であり、七宗町を作っていくことができる。 ・上麻生、神渕と一緒に新しい刺激を受ける、中学生の多感な時期は多くの友達の中で成長することが大切。 ・通常であれば引き継がれると思う。 ・現校舎は小学校として活用し、現小学校は、子育て支援センターやシルバー人材センターなど福祉施設としてふれあいの場として活用していく。 ・3月に空いたから4月からというのは難しいが、1年ほどでできると思われる。 ・保育園の夏祭りボランティアは、貴重なふれあいの機会でもあるので、良いものは残していく。 ・一部生徒の天候などによる遅刻の場合の授業時間の確保については、保障すべきことであり、学校と協議しながら対応していきます。 ・子ども達への説明は現時点では、考えていないが今後検討していきます。 ・今でも保育園や小学校でも交流会や、音楽会 宿泊研修など校外学習で交流しており、合同の試行も検討していきたい、ただし、本年度の体育祭、運動会を合同では難しい。 ・小学校1年生、8名以下、その他、岐阜県は、15名以下、国は16名以下、の場合は、複式学級となる。中学校は編成しない。同一教室で2学年が授業を受けることになり、先生は1名、渡りの授業を行い、1学年を教えている時は、他方の学年は、自習をする。

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合は考えているのか。 ・複式学級になった場合の臨時講師などの手当をしてほしい。 ・スクールバスの臨時便は、土日の行事や、部活動でも運行してもらえるのか。 ・計画書など情報開示をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の統合は現在のところ考えていない。 ・複式学級になったら その子たちが学力低下にならないように手当を町としても努力します。 ・スクールバスの運行等についても今後準備委員会で詳細を協議していくなど参考にさせていただきます。

小学校保護者対象意見交換会における主な意見

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<ul style="list-style-type: none"> ・開催案内文書に、保護者の意見を重視して統合を進めてほしいという意見があり、となっていますが、神淵の報告会でいかにも統合を進めてほしいという意見が大勢で、そのような意見にまとまったかのような文書で、議事録を一度確認していただきたい、非常に違和感を感じている。 ・10年経っていない校舎で統合しようとするケースが全国でありますか。 ・アンケートを実施した者として何か質問があればお答えいたします。 ・現中学校の校舎は小学校に改修できるようなはじめから設計されているのか。 ・19年2月のアンケートが合併の理由として重視されているようですが、統合のアンケートの結果が統合の希望が多かったことですが賛成が神淵が何人で上麻生が何人なのか内容が知りたい。 ・国の動きと反するような町の方針というものに、それを上回るような町長の思い、理念、理想がわからないので、もう一度お聞かせいただきたい。 ・P5「アンケート」で神淵小のPTAのアンケートで60～70%の人が賛成となっていますが、これは何のアンケートでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文書表現が誤解を招く表現であったということならば誠に申し訳ありませんでした。決してそういった統合ありきということではなくて、報告会の中にもう少し保護者の方々の話を聞く必要があるのではないかという経緯の中で、この意見交換会を開催させていただきたいというものでございます。 ・10年未満の校舎については、資料的なデータはないですが、無いと思われまます。 ・現中学校は3クラスで、残り3クラスが必要となり、始めから小学校にできるようなスペースを考えるとありません。 ・アンケートについては、PTAで行われ中学校を統合してほしい、59件の内訳、神淵15件、上麻生44件です。 ・平成19年の子育てに関する連合PTAでのアンケートももちろんですが、新しく中学校校舎が建設された頃、町商工会青年部に所属し、統合についても話あいをしてきた、7年前町長に立候補する前などの座談会などでも聞いておりました。町長就任後の32地区懇談会でも、中学校統合の意見も出され、少子化にむけて、統合が必要である、そういった思いで 統合を表明した。 ・説明会のなかで 出た質問を掲載したものです。左が質問で、右側が町の回答です。

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<p>・神渕の保護者が反対しているが、無駄なお金を使ってまでバスを利用して余分にお金がかかるのに統合する理由がわからない、追洞、飯高のところは落石注意という看板が出ています。雨が降ると地盤が緩んで落石の危険のあるような道を、通って学校に通わせなければならないのでしょうか、道路ができてから統合してくださいとお願いしているのです。上麻生の子さえよければ神渕の子が、もし落石によって怪我をしてもかまわないということで進めてみえるのでしょうか。</p> <p>・本日両方の保護者が一堂に会して意見交換をしているので、上麻生からもすばらしい意見があれば、かたくなに反対をしているわけではないので、そうゆう意見を言ってもらえると。</p> <p>・親としての想いは、自分の子が10年後、20年後、七宗町がいい所と、ずっと住んでいたいと言ってほしい、そのためには、道路整備は必要、部活動、野球が好きならしてほしい、そう思うとグラウンドの条件、土地の条件は必要と思う、小学校では数年先に複式学級になる、複式学級になると2年生と3年生という二つの学年に先生が一人で、授業は先生にとっても子どもにとってもすごく大変で難しい、ある程度の人数の確保というのはこの先教育をしていくのに必要ではないかと思うと統合は必要ではないかと思えます。</p> <p>・基本的に、子どものことを考えたときには、統合は必要となると思う、同じメンバーで保育園から来ていて馴染み合いになってきている。中学を統合して、新しい風を入れて、道路の件については、危険な箇所もあるが、上麻生地区は毎日通らなくてはいけない場所である。中学校が統合したなら、神渕地区の方々と協力して、県のほうへ早く作れないか陳情すれば、早く完成できるのではないか、みなさんの力を借りて、10年かかる道路が5年でできるのではないか。</p>	<p>・危険な道路を通ってということでも心苦しいところもありますが、今まで、追洞や室兼の子どもたちは小学校・中学校と通ってきました。スクールバス、町営バスも通り、雨量規制は、安全を確保するための対応、しっかり確認してからの通行、高校生、お年寄りの方もバスに乗って通っています。事故があったらどこが責任を取るのか、責任は町として執らなければなりません、道路ができてからの統合では、子ども達の人数が何人になってしまうのか、いつになってしまうのか、10人になって10人を切ってから統合すればいいのか、中学生は義務教育最後、今も100%近くの子が高校進学しています。そんな子が切磋琢磨していかなければならない、いろいろな喜びや苦しみも仲間とともに乗り越えていかなければならない、という思いで、決してスクールバスが増えるから、町の負担が増えるからではなく、みんなで子どもたちをしっかりと育てていかなければならないという思いですのでご理解をお願いいたします。</p>

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<ul style="list-style-type: none"> ・上麻生の子どもは学校を変わらないので抵抗が無いかもかもしれませんが、突然2年後から上麻生へ行けと言われて、心の準備が無くて、学校を変わるの子どもも戸惑っています。子どもが嫌がっていることを、親として賛成できない。 ・ 親として、子どもにとって良い環境で勉強して欲しいと願う。七宗町に住んでいる以上魅力的な町になってほしいと願う。中長期的な町としてのビジョンや、それを受けての教育委員会としての教育環境をどう整えていくのかがはっきり示されていない。 ・ 3月の説明会から、8月まで意見を聞かれて具体的にどんな動きをされたか聞きたい。 ・ スクールバスの運行パターンでは、部活動にならない。案として提出するにも、雑すぎて信用ならない。 ・ 町長就任以来どの程度道路建設について陳情されたのか、平成9年の小中学校連合 PTAの要望書は、記名押印しており統合する場合は町の中央で道路の整備がされてからと要望している。教育委員会での結論が出ていないのに、ドンドン進んでいくのは納得できない。教育委員会の結論を待つからでも遅くない、教育委員会は独立した立場で検討を十分していただきたい。 ・ 町の財政は統合することによって負担は軽減するのは本当か。 ・ 部活動がどんなふうになるのか。 ・ 統合すれば、道路のことが進めやすいのか。 ・ 平成31年に10名を割るので、その辺をめどにしてはどうですか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町としての想いが伝わっていないということについては、準備をしていかなければならない、スタートは、町長の統合をという意見からであり、25年4月からの提案は説明会等の意見を聞いて、踏まえながら、多くの方からの意見を聴いて、よりよい学校を考えていくと共に、七宗町の将来に向けて、考えていく、ただ、今上手く伝えていない、みんなで相談・努力・検討していく。 ・ 他市町村の状況について、高山市・高根町、加茂郡白川町、八百津町の実態について現地にて調査をいたしました。名古屋市笹島、飛島、東京都品川区など、ネット上で調査し小中一貫教育について、情報収集をしております。 ・ 通常時の登下校を提示しており、この運行表では対応できない場合は、随時バスの運行を考えていかなければならない、あくまでも案であり了承して欲しい。 ・ 可児金山線の道路問題について、就任以来努力をしており、就任前より努力されている。17年から、国会議員などに、本当にお願ひして、当時岐阜県として3年間新規事業採択の無かった事業を、平成19年に新事業採択をいただいた。回数は今はわからないが、幾度となく、県庁の幹部、国会議員へ要望活動として町議の方とともに東京陳情にいつている。今年から工事に着工していける。 ・ 廃校になった場合、経費について1360万円、今は校舎が新しいので修繕費がかからない、交付税が減るので、維持管理経費と同額となる。 ・ 現状の部活を維持するということは、神湊中は女子のバレーが昨年廃止、上麻生中は男子卓球が廃止、お互いが集まれば、結果として増えるということになる。選択肢としてバトミントン、バレー、卓球が増えるのではないかと思う。 ・ 統合して両地区の保護者からの強い要望があれば道路の進み方は、早くなるのは間違いないと思う。 ・ 平成31年というお話もありましたが、保護者がお互い意見を出し合って、皆さんの総意がそういったことならば、意見が良いことであれば。

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<ul style="list-style-type: none"> ・統合と引き替えに、神淵地区に給食センターを作るのではないかと。子どもが多い上麻生に作るのが本当ではないかと。統合の引き替えにするのは止めて欲しい。 ・他の市町村では、学校統合の場合、統合される保護者の不安や課題を解決してから行うのではないのでしょうか。 ・子どものためなら親は納得するし、子供の将来のことを考えて、何が一番最善か、町にとって何が一番良い選択かを、考えて、お互いに協力しながら話が進んでいけば良いと思います。 ・中学1年生に子どもがいるのですが、小学6年と中学1年が一番犠牲になると思うので、中学3年生の時期、受験に重なるので心配なのですが。 ・25年4月統合は変わらないのですか。 ・自分の子どもが神淵地区だったら、と考えたが、神淵地区の半数以上が賛成しないなら考え直して欲しい。 ・人口が減っているのを、統合して推進するようなことは避けて欲しい。統合せざるをえないときにすればいいのかなと思う。統合を避けるような政策はしないのですか。 ・子どもが豊かに幸せな生活を送って欲しい、受験を控えたお子さんのことを心配しています。教育委員会もフォローをするのでは無く、先生への指導をして欲しい。不安のない生活を子どもにさせていただいて、町だけでなく教育現場も勉強して欲しい。 ・自主的に早く登校しているが、バス通学では、生徒会活動などに支障がでるのではないかと。子ども主体に考えて欲しい。 ・町長は商工会青年部では、部員ひとり一人の意見を取り入れていた。しかし、今は自分の意見で突っ走ってしまっているが、こんな大きな意見があるのに、検討しないように見える。神淵地区の意見を真剣に考えて欲しい。 ・統合の話題は昔からあったが、昨年12月からの統合に向けた話があり、今後、もし人口が増えたら、上麻生中学校で対応していいのか。人口を減らさない政策、努力をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合と引き替えではない、神淵カヤバの撤退、美濃東久の廃業、丸七ミヤマの撤退など、雇用の場として、利便性の面から言えば上麻生中学校へ統合するなら上麻生が良いのではないかと意見もいただきました。強い想いとして、25年2学期より、統合の話とは別として、しっかりと受けていきたい。 ・それを、検討する場を開き、保護者の皆さんの総意の下、するのにも必要と思いますのでご理解ください。 ・子どもの心のケアについては、当然、心配があると思うが、学校の先生からのフォローも得られると思っている。 ・基本的には25年4月と思っていますが、全体の総意として意見がまとまれば26年でも、27年でもという気持ちです。 ・町営住宅を神淵下中切地区に4戸建設をします。段の峰も町有地として総合的な開発で活用していきたい。空き家情報もインターネットで発信しています。あらゆる可能性にかけています。 ・臨時のスクールバスの運行も、必要ならば運行しなければならぬと思う。 ・今後も会合を開き、皆さんの意見をお聞きしたい。 ・今後も人口減少に対する取り組みは行っていきたい。

中学校保護者対象意見交換会における主な意見

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<ul style="list-style-type: none"> ・ 25年4月 統合なのか、統合したいのか、どちらなのでしょう。 ・ 統合が悪いとは一概にいえませんが、道路整備をしてからでないと、現状の危険なところが、後回しになっています。今回の町長さんの考えには絶対反対です。 ・ なぜ急いで25年に統合しなくてはいけないのか、何か急いでも問題がでてくるばかりで、子どもに負担がかかるばかりではないのかな。もう少しじっくり時間をかけて、問題に対して取り組んでいってからでも遅くないのかなと思います。もう少し土台ができて、これなら大丈夫だなというときに統合をしていただきたい。 ・ 小学校の会にも出ましたが、25年4月は白紙になるということですか。 ・ 今まで統合に向けたアンケートを採られているが、賛成の意見が多いが、合併できなかった理由をお願いします。 ・ 子どもがいかに安全に通学できるかが問題だと思います。25年4月までに安全が確保できるのですか。 ・ 統合に向けて、同じ制服が着れるような、細やかな心遣いが欲しいなと思います、準備の段階で、制服などの補助をしていただけたかを考えていただきたいと思います。 ・ 自分も小学生の時に小学校が統合したが、ワクワクしたことを覚えている。親が心配するほど子どもは順応性を持っている。行事については、作っていけると思うとプラスになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25年4月に統合に向けて行きたい。 ・ 昭和55年からの問題であり、平成10年ごろにも、商工会青年部長をしており、統合して欲しいという気持ちを伝えていた。7年前の町長に立候補する前の会合でも、話があり、自分自身の公約でもありました。平成18年には町内32地区の座談会でも話があり、PTAのアンケート結果など色々な面から吟味して、中学校検討委員会を作り、自分としては、多くの住民の皆さんの総意との考えの下、決断をしてきた。しかし、皆さんの意見、総意の元、25年では早すぎる、1年、2年延ばして、色々なことを検討していきたいと言う意見であれば大賛成です。 ・ 25年4月は最短で出さしていただきましたが、やはり、子を持つ保護者の意見が大事ということで、そういったことをしっかりと検討していただき、統合に向けて行きたい。 ・ 最初のアンケートでは、当時は賛成が多くありました。統合は推進すべきという意見はその都度ございました。ですが、統合する場所に対しては、やはり神淵地区、上麻生・川並・中麻生地区の大ききは二つですが、位置については双方がなかなか歩みよれる状況は少なかったように思います。中央というような意見が多かった状況ですが、6箇所の候補地ということで落合地区に落ち着くようところまでいきました。非常に山の中まで入っていかなければならない、ということで一番見晴らしの良い飯高地内の茶園、はどうか、位置に対して双方の意見が一致しなかった。統合については当時から大きな反対は無かった。ただし、神淵地区におかれましてはPTA単独で、最初の統合に向けての際には署名で出された経緯はあります。位置について落ち着くところが無かったというのが大きな要因です。 ・ 道路整備については、今年度から部分的に着工していくが、統合にあわせて完成ではない。 ・ 制服やユニホームに関しましては、一つの中学生として揃えてあげたい。町としても責任持って考えていきたい。

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<p>・過疎地でも都市でも、小中連携について、検討の余地があるとか、成功事例やうまくいかなかった事例を出していただけるとありがたいと思います。</p> <p>・小中一貫についてはどういものでしょうか。</p> <p>・特に、中1や6年生の親の話を聞いていると、一緒になって上手くやっけていけるか感情が先にあるので心配、丁度この年代の子どもは、多感期にあるので、どうせ統合するなら小さいうちが良いので、保育園からはじめてというのはどうでしょうか。</p> <p>・保護者レベルでは、今回がはじめてではないか、この時点がスタートであるように感じる。この意見を集約して、統合の時期を決めるのではないかと、温度差があるように思えます、どのようにお考えかお伺いします。</p> <p>・神奈川地区の皆さんから、かなり強い反対の意見を聞いてきた。現在の段階での手順、町全体の説明会をやられると言われましたが、それのみで何らかの結論を出されるのか、改めて検討する場を設けるか、一番は、今までの経験を生かして、今までの統合できなかったことを繰り返してはいけない、25年が無理なら、別の手段を考えていかなければならない、その方針を聞きたい。</p> <p>・12月の議会で否決の場合は、過去の繰り返し、反対であった理由、そこでストップしてしまうのだけは避けて欲しい。先に延びることは町長さんも考えて見えるので、将来を考えた判断をお願いしたい。</p> <p>・2月と8月と今回参加させていただいたが、不信感が残ってしまい、ひとりの親として、子どもに七宗に残ってくれと言えません。魅力のある町づくりをしていただけたらと思います。</p> <p>・上麻生地区と神奈川地区では、統合に対して温度差がある。統合しても、友達が増えて、順応性があるが、戸惑いがものすごくある。不安がかき消せない。これがスタートであり、上麻生中学校と交流を深めて、親としては上麻生に子どもを送り出すという気持ちになる。学校の特色も違う、地域性のこともあり、年配の方が、反対だという方が多いこともあり、素直に25年に統合しようねと素直に賛成と言いつらい。</p>	<p>・小中連携の考え方は、全国的に統合を機会に考えるところはあるが、色々な形がある。小中が併設している、離れている、一貫校としてるところ。統合とは関係なく、小中連携というのはとても大切なことでもあります。</p> <p>・一貫校になるのは、システムや準備が大切、今出来ていることは、中学校の音楽の先生に小学校へ来ていただいている。</p> <p>・保育園の統合は親さんの負担が大きく、送り迎えは基本的に親御さんにさせていただいている、厳しいのではないかと考えている。現在小学校の統合は考えていない。複式学級になって、保護者からの意見があったら対応していかなければならない。</p> <p>・決して急に統合問題を出したと思っていない。検討委員会についても保小中の総会に出席させていただき、1年2年でなく検討いただける方を出していただきたい、色々検討していただき、検討した中での、経緯であるのでご理解いただきたいと思います。</p> <p>・25年4月となりますと、12月の定例議会で中学校設置条例を提出していかなければ間に合わない。否決ならば25年4月は無理になってくる。過去の繰り返しだけは避けていきたい。それぞれの保護者会長、PTA会長さんに集まってお話し、意見交換会の報告をさせていただき、一度持ち帰っていただき、検討していただき、なるべく皆さんの総意に基づいて、しっかりとした統合を進めていきたい。</p> <p>・将来を担う子供たちのことを思って、議論し、意見交換をしていく、反対があったからやめてしまうということではなく、何とかいい方向での統合に向けていきたい。</p> <p>・2年程前から、職員による30年後の七宗を考える会を設け取り組んでまいりました。町づくりに取り組んできているが職員だけでは実行していきませんので、住民の皆さんの力共々にご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>・交流や意見交換会を、PTA会長さんや保護者会長さんと話をさせていただいて、何度でも意見交換会を開催していきたい。私たち抜きでそれぞれでもっと交流を深めて、行くことも是非進んでいって、活発な意見交換をしていただきたい。</p>

意見概要（要旨）	町側の考え方・今後の進め方（要旨）
<p>・ 10年後には子どもの数が半分近くになる、その10年後に、その保護者からありがとうと言ってもらえるような、そういう状況になればいいと思います、戸惑うことは多々あると思いますが気持ちを前向きに考えていただくと、統合に向けて進んでいただけるといいのかなと思います。</p>	